

## 連絡文第20-1号

# 関ヶ谷市民の森愛護会

## (平成20年度第1回役員会の報告等)

平成20年5月4日

### 第6回定期年次総会の概要

第6回定期年次総会は、市の南部公園緑地事務所長平山実氏をはじめ近隣4自治会長を来賓に迎え、4月12日、山の手自治会館において、滞りなく終了した。総会において了承された事項は概略以下の通り。

1. **平成19年度活動報告** (会員40名)
  - (イ) 委託作業： バトロール55回、草刈業務13回、清掃業務55回
  - (ロ) クラブ活動等：炭焼き、花壇維持、木工、ほたる復活事業等39回
  - (ハ) 行事イベント：筍刈り、ほたる鑑賞、自治会夏祭への出店等8件
2. **平成19年度収支決算報告**
  - (イ) 収入177万円：うち管理委託収入68万円、都市緑化基金97万円 水辺愛護6万円
  - (ロ) 支出177万円：うち資材費97万円 会議交流費20万円 活動費25万円
3. **役員選出**

(会長) 鈴木 (副会長) 日高、宮本、平野 (財務担当) 戸次 (総務担当) 篠原、川島  
(監事) 真鍋、加藤 (相談役) 池田(技術指導)、吉田(ほたる事業)
4. **平成20年度活動計画** (会員数41名)
  - (イ) 月2回の公式活動日は、従来通り、各月の「第一日曜日」および「第三土曜日」。
  - (ロ) 委託作業、炭焼き事業及びクラブ活動、行事イベントは前年度に準じる。
  - (ハ) **長期計画**としては、引き続き「ほたる復活事業」が途上にあるが、**中期計画**としては、「炭焼き施設の建設」が終了し順調に軌道にも乗ったので、今年度からは新たに、「地域住民に愛され親しまれる森造り」をテーマに具体的計画の策定に着手する。
5. **平成20年度予算**
  - (イ) 収入86万円：うち管理委託収入68万円 水辺愛護6万円 繰越金10万円
  - (ロ) 支出86万円：うち活動費20万円 会議交流費20万円 研修交通費8万円  
備品消耗品4万円 保険費2.6万円 予備費30万円

### (備考1) CO2削減問題の提起について

「平成19年度活動」に関連して、来賓の一人から、「炭焼事業」とCO2削減との拘りについて疑問が提起された。確かにCO2削減問題は地球規模の今日的課題ではあるが、当愛護会の定期年次総会で論議を尽くすには余りにも論点が広く、かつ、準備不足の謗りも免れないと思われたので、後日改めて調査検討する機会を得ることで了承を得た。しかし、その後、梁瀬会員からこのテーマに関する貴重な文献（MKI総合研究所「地球温暖化を防ぐ森の力」）が寄せられたので、そのエッセンスを紹介することにより上記疑問へのご参考に資することとしたい。

「1997年の京都議定書を契機に、森林がCO2の重要な吸収源と位置付けられ、日本のCO2削減目標の達成には森林の整備・保全を組入れることが不可欠とされた。しかし、日本全土の森林による追加的なCO2吸収量は全排出量の5%強で化石燃料による排出量を相殺する規模には至っておらず、また、一定の林齢を経た森林のCO2吸収力はかなり低下するため、伐採・再植林による森林の蘇生・拡充は一定の周期で繰り返行われることが必須条件とされた。他方、森林資源由来の製品から排出されるCO2は森林が元々大気から吸収したものを大気に返しているに過ぎないと言う意味でCO2の増減には長期的に中立的（これをカーボンニュートラルと言う）であるがゆえに、適切に整備・保全された持続可能な森林経営の下では、化石資源由来の製品を森林資源由来の製品に代替させて行くことでCO2排出削減効果を十分に発揮しうるとの認識がなされた。このように、森林の蘇生・拡充は、化石資源由来の製品からカーボンニュートラル製品への代替を並行して推し進めることにより、地球温暖化を阻止し得る有力な手段として期待される。

要すれば、今後は、化石燃料によるCO2排出量と森林によるCO2吸収量とのフロー収支をバランスさせるだけでなく、既に大気中に大量に排出されているCO2を木材の形に固定し直すこと、即ち、森林の整備・保全を森林におけるCO2ストック量を増やす手段として捉え、森林を一層充実・活性化させて行く心構えと慣習を日常的国民的規模に広げて行くことが必要であり、長期的には、大量生産、大量消費、大量廃棄型のライフスタイルを是正することで化石燃料を抑制し、カーボンニュートラルな資源の供給源である森林を基軸とした循環系の社会経済システムを構築して行くことが求められる。

### (備考2) 役員の変替について

徳岡会員が、平成20年4月より「関ヶ谷自治会長」に就任され当愛護会理事を退任されたのに伴い、その後任者として、川島会員を当愛護会理事（総務等担当）に選出した。

### (備考3) 中期計画の「執行計画策定委員会」の立ち上げについて

今総会で新たに了承された中期計画「地域住民に愛され親しまれる森造り」の「執行計画策定委員会」が立ち上げられ、そのメンバーとして樹林管理に詳しい以下の7会員が選出された。

鈴木、日高、平野、池田、吉田、篠原、戸次

以下は、平成20年5月3日開催の「第1回定例役員会」での決定事項等です。

### [I] 今後の公式活動予定

5月 4日(日)	公式活動(炭焼き、梅林他の草刈、杉の皮むき等)
17日(土)	公式活動(窯だし、竹垣、草刈、花壇周辺片付け等)
6月 1日(日)	公式活動(下草刈り、笹刈り、竹垣、貯木場造り等)
21日(土)	公式活動(園路沿いの草刈り、竹垣、貯木場造り等)
7月 6日(日)	公式活動(炭焼き、草刈り等)

(注) 公式活動日は、各月の「第一日曜日」及び「第三土曜日」とする。

### [II] 今後のパトロール予定

5月 4日(日)	大木 通宏	加藤 文明
11日(日)	橋本 順二	橋本 弘子
18日(日)	平野 利治	惣谷 実
25日(日)	池田 陽一	飯野 光吉
6月 1日(日)	齋藤 和子	小倉 征子
8日(日)	古賀 卓郎	川島 敏裕
15日(日)	門田 教与	立川 成江
22日(日)	篠原 英男	上原 隆一
29日(日)	鈴木 勲	永田 一彦
7月 6日(日)	真鍋とめ子	雨宮 誉子
13日(日)	吉田 文雄	梶田 良春
20日(日)	徳岡 正彦	山口精一郎
27日(日)	外山カオル	塩山 裕子

(注1) パトロールのチェックは、「巡回チェックリスト」に拠って実施して下さい。

(注2) パトロール結果は、上記「巡回チェックリスト」を川島総務担当役員宛、  
FAX ( ) か、電子メール ( ) によ  
て報告して下さい。

### [Ⅲ] 会員一覧とクラブ入会状況

#### (1) 町内会別会員一覧（第6回年次総会時の会員総数41名）

山の手： 鈴木勲、宮本英利、真鍋とめ子、加藤文明、宮本久美、立川成江、大木通宏、入部信寿、塩山裕子、小倉征子、古賀卓郎、門田教与、飯野光吉、惣谷実、雨宮誉子、上原隆一（16名）

関ヶ谷： 日高清之、戸次鎮治、篠原英男、川島敏裕、徳岡正彦、斎藤和子、戸次明子、吉川征治、橋本順二、橋本弘子、森紀美江、永田一彦、山口精一郎、萩尾泰章、萩尾和子（15名）

坂本： 平野利治、吉田文雄、野路美智恵（3名）

パークタウン： 池田陽一、鹿谷元良（2名）

ウッドパーク： 外山カオル（1名）

夏山： 澤邦彦（1名）

州崎： 梁瀬勉（1名）

六浦： 梶田良春（1名）

柴町： 中村治（1名）

#### (2) クラブ入会会員一覧（第6回年次総会時）

##### ほたる復活クラブ（リーダー：宮本会員）

吉田文雄、篠原英男、平野利治、鈴木勲、鹿谷元良、外山カオル、戸次鎮治、橋本順二、宮本英利（9名）

##### 木工クラブ（リーダー：戸次（鎮）会員）

戸次鎮治、加藤文明、池田陽一、鈴木勲、宮本英利、入部信寿、篠原英男（7名）

##### 園芸クラブ（リーダー：日高会員）

日高清之、塩山裕子、小倉征子、戸次明子、宮本久美、山口精一郎、森紀美江、雨宮誉子、宮本英利（9名）

**(注) クラブへの入会希望は、各クラブのリーダーあて随時お申入れ下さい。**

## [IV] 各クラブ等の活動状況

### (1) ほたる復活事業

かねて懸案の「ほたるの里」のログハウス移設作業は、4月28日有志12会員のご協力を得て屋根を除く全ての移設を終え、5月1日吉田相談役が屋根を葺いて完了した。残る作業は、ドアと窓枠の取付け、水を引くホースの敷設、幼虫飼育のための諸施設（水槽、棚）の完備です。また、「ほたるの里」は一年を経て要補修箇所が出てきています。今後吉田相談役のアドバイスに従い順次消化して行く予定。なお、今季は昨年放流した蛍幼虫の自然羽化状況を調査確認する必要があるため、新たな放流は取り止め「ほたる祭り」は1年延期されることとされた。

### (2) 炭焼事業

炭焼きは、奇数月第一活動日に行うこととされているので、次回は、予定通り5月4日（日）の公式活動日午前7時に火入れを行います。

### (3) 園芸クラブ

長い冬を通じて我々の目を楽しませてくれた「パンジー」は、皆様の花柄摘みのお陰で未だに美しい花を咲かせています。また、今春は昨年植えた「芝桜」が花を付け「いこいの広場」や「山の手入口」を賑わしてくれました。更に、「いこいの広場」斜面の「芝桜」を拡充するため、芝桜で有名な伊勢原市から購入した苗百株および吉田会員から頂いた苗十数株を4月26日同斜面に植え込みました。来年が楽しみです。

### (3) 木工クラブ

「たけのこの道」の竹垣の補修（リーダーは戸次）と階段の段差修正（リーダーは篠原）を予定している他、伐採して放置されたままになっている数十本の丸太の皮むき、保存備蓄、それらの有効利用等につき篠原会員から提案されたアイデアを実施することとされた。

## [V] その他

### (1) パトロールの担当役員の交代（徳岡→川島）

今回の役員交代により、パトロール担当役員が徳岡会員から川島会員に代わりました。  
パトロール結果の報告先も変わりましたのでご注意ください。

### (2) 次回の定例役員会

次回定例役員会は、7月5日（土）午後7時から、「山の手自治会館」において開催します。その際、昨年台風で延期した「越谷ホテル鑑賞会」のスケジュールを具体化します。

関ヶ谷市民の森愛護会会長 鈴木 勲

（文責 文書担当 宮本 英利）